

事務事業名	市民センター用地管理事業				担当	教育委員会 文化課 管理係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-7731	
施策名	6	文化芸術の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和48 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	借地借家法						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	1社会教育総務			
事業概要	市民会館周辺の公共施設用地である市民センター用地の管理事業である。市民センター用地として、昭和47年から60年の賃借権により賃貸借契約を締結し、地代を支払っている。土地の所有者から買取りの申し出があった場合は、市が買い取る。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 28年度実績 地代を6月に各地権者に支払った。 地権者から買取り申し出があった493平方mを3月に購入した。 29年度計画 地代を6月に支払う。 地権者から買取り申し出があった場合、市が買い取りをする。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
	ア 地代	千円	15,950	15,338	12,757	10,652	10,652		
	イ 買取り件数	件	1	1	6	1	0		
	ウ 買取り金額	千円	14,147	15,278	119,514	7,100	0		
エ 買取り面積	平方m	470	525	9,328	493	0			
オ 市民センター用地総面積	平方m	93,081	95,846	95,846	95,846	95,846			
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民センター用地	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
	ア 借地の面積	平方m	38,768	38,243	28,915	28,422	28,422		
	イ 借地の筆数	筆	24	23	17	17	17		
	ウ 地権者の数	人	12	12	10	10	10		
エ									
オ									
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 賃貸借契約の適正な履行及び市民センター用地の確保	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
	ア 市民センター用地の買取り面積	平方m	470	525	9,328	493	0		
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 公共施設用地、イベント用地、駐車場用地等としての市民センター用地の市有地化を図り、市民福祉の向上につなげる。 将来的には借地料の軽減になる。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
	ア 買取り済面積/市民センターの面積	%	58.4	60.1	69.0	70.3	70.3		
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	1,723	1,723	1,622	1,620	1,620
			一般財源	千円	30,983	33,263	140,232	17,630	17,630
			事業費計(A)	千円	32,706	34,986	141,854	19,250	19,250
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	160	160	160	160	160
			人件費計(B)	千円	650	675	670	664	664
			トータルコスト(A)+(B)	千円	33,356	35,661	142,524	19,914	19,914

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市民会館の建設にあたり、周辺を市民センター用地として整備するため、賃借により積極的に用地を確保してきた。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和50年代までは、地代を水稻の政府買入れ価格により毎年増額していたが、昭和60年代以降は政府買入れ価格が下がった傾向になったため、平成3年度からは、3年毎の水田の固定資産評価額の見直しに合わせ、その平均上昇率により増額してきた。しかし、下落する地価の動向を考慮し、平成12年度からは据え置きとなっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民センター用地は主に社会教育施設、社会体育施設、文化施設の敷地として利用されており、芸術文化の振興、スポーツの振興が図られている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民センター用地として市が借り上げたものである。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 借地の管理であり、市有地化を図ることは適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 適正に管理されている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地権者との賃貸借契約に基づくものである。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 主な事業費は地代及び土地購入費であり、削減は困難である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 借地及び市有地の管理事務のみである。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設用地であり、市が管理すべきものである。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							